

様式第11-1号～様式第11-3号 (略)

様式第11-1号～様式第11-3号 (略)

様式第11-4号

(別添)

○水田活用の直接支払交付金の申請件数及び対象作物の作付計画面積

(単位:件、ha)

地域協議会名	申請件数	戦略作物助成							産地交付金		水田農業高収益化推進助成																						
		麦	大豆	飼料作物 (除WCS用稲)	牧草		WCS用稲	米粉用米	飼料用米	加工用米	そば	なたね	新市場開 拓用米	※地力増進作物	高収益作物定着促進支援						高収益作物畑地化支援	その他畑地化支援		子実用とうもろこし支援									
					は種	は種以外									野菜		果樹		花き・花木	その他		高収益作物のみ	一般作物又は高収益作物										
															うち加工・業務用	うち加工・業務用以外	うち加工・業務用	うち加工・業務用以外															
合計																																	

※地力増進作物については、作付面積(基幹作)の合計。

様式11-4号

(別添)

○水田活用の直接支払交付金の申請件数及び対象作物の作付計画面積

(単位:件、ha)

地域 協議会名	申請 件数	戦略作物助成							産地交付金			水田農業高収益化推進助成												
		麦	大豆	飼料作物 (除WCS 用稲)	WCS 用稲	米粉 用米	飼料 用米	加工 用米	そば	なたね	新市場開 拓用米	高収益作物定着促進支援						高収益作物畑地化 支援	その他畑 地化支援	子実用 とうもろこし 支援				
												野菜		果樹		花き・花木	その他							
												うち加工・業 務用	うち加工・業 務用以外	うち加工・業 務用	うち加工・業 務用以外									
合計																								

様式第11-5号

(別記)

○年度●●県水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

2 高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

(記載時は削除)

☑ 農業者の所得向上地域における水田農業の発展等を図るため、どのような方針・目標で取り組んでいくのか明記してください。

【 検討に当たっての主な視点 】

○ 適地適作の推進

- ・ 地域の実情（気候や圃場条件等）に応じた作物選択 等

○ 収益性・付加価値の向上

- ・ 高収益作物への計画的な転換方針（水田農業高収益化推進プロジェクトチームの設置・検討状況、今後の推進計画の策定方針等）
- ・ 転換作物の付加価値の向上に向けた方針 等（地場産業との連携、有利販売に向けた販売戦略、ブランド化の取組方針等）

○ 新たな市場・需要の開拓

- ・ 輸出等の新たな市場の開拓に向けた方針 等

○ 生産・流通コストの低減

- ・ 転換作物の生産性の向上に向けた方針 等（低コスト生産技術の導入・普及、農地の集積・集約化の方針、作付けの団地化の取組方針等）

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

(記載時は削除)

☑ 作物の需給動向、担い手の育成、農地の集積・集約化、基盤整備の状況など、地域の実情を総合的に分析し、作付け作物や管理方法等を含め、産地として将来にわたって水田をどのように有効利用していくのか明記してください。

【 検討に当たっての主な視点 】

○ 地域の実情に応じた農地の在り方

- ・ 担い手・労働力の状況等に照らして、水田のまま維持し続けるのか、畑地や樹園地等にするか 等

○ 地域の実情に応じた作物・管理方法等の選択

- ・ 輪作体系等への労働生産性が高い子実用とうもろこし等の導入や、省力的な管理が可能な作物等の導入 等

○ 地域におけるブロックローテーション体系の構築

- ・ 地域における水稲作付水田と転換作物作付水田をどのようにローテーションさせるのか、等

☑ 水田の利用状況点検しつつ、重点支援期間（令和3～5年度）における畑地化支援を活用した畑地化の道筋等を明記してください。

○ 水田の利用状況の点検方針・点検結果を踏まえた対応方針（必須）

- ・ 水稲（水張り）を組み入れない作付体系が数年以上定着し、畑作物のみを生産し続けている水田がないか、今後も水稲作に活用される見込みがないか等の点検方針・点検状況等を明記。
- ・ 点検結果を踏まえ、畑地化支援を活用した畑地化や地域におけるブロックローテーション体系の構築への道筋等を明記。

様式第11-5号

(別記)

○年度●●県水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

2 高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

(記載時は削除)

☑ 農業者の所得向上地域における水田農業の発展等を図るため、どのような方針・目標で取り組んでいくのか明記してください。

【 検討に当たっての主な視点 】

○ 適地適作の推進

- ・ 地域の実情（気候や圃場条件等）に応じた作物選択 等

○ 収益性・付加価値の向上

- ・ 高収益作物への計画的な転換方針（水田農業高収益化推進プロジェクトチームの設置・検討状況、今後の推進計画の策定方針等）
- ・ 転換作物の付加価値の向上に向けた方針 等（地場産業との連携、有利販売に向けた販売戦略、ブランド化の取組方針等）

○ 新たな市場・需要の開拓

- ・ 輸出等の新たな市場の開拓に向けた方針 等

○ 生産・流通コストの低減

- ・ 転換作物の生産性の向上に向けた方針 等（低コスト生産技術の導入・普及、農地の集積・集約化の方針、作付けの団地化の取組方針等）

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

(記載時は削除)

☑ 作物の需給動向、担い手の育成、農地の集積・集約化、基盤整備の状況など、地域の実情を総合的に分析し、作付け作物や管理方法等を含め、産地として将来にわたって水田をどのように有効利用していくのか明記してください。

【 検討に当たっての主な視点 】

○ 地域の実情に応じた農地の在り方

- ・ 担い手・労働力の状況等に照らして、水田のまま維持し続けるのか、畑地や樹園地等にするか 等

○ 地域の実情に応じた作物・管理方法等の選択

- ・ 輪作体系等への労働生産性が高い子実用とうもろこし等の導入や、省力的な管理が可能な作物等の導入 等

(新設)

☑ 水田の利用状況点検しつつ、重点支援期間（令和3～5年度）における畑地化支援を活用した畑地化の道筋等を明記してください。

○ 水田の利用状況の点検方針・点検結果を踏まえた対応方針（必須）

- ・ 水稲（水張り）を組み入れない作付体系が数年以上定着し、畑作物のみを生産し続けている水田がないか、今後も水稲作に活用される見込みがないか等の点検方針・点検状況等を明記。
- ・ 点検結果を踏まえ、畑地化支援を活用した畑地化の道筋等を明記。

**4 作物ごとの取組方針等**

(1) ~ (5) (略)

(6) 地力増進作物

(7) 高収益作物

**4 作物ごとの取組方針等**

(1) ~ (5) (略)

(新設)

(6) 高収益作物

別紙

5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等	当年度の作付予定面積等	令和5年度の作付目標面積等	
			うち 二毛作	うち 二毛作
主食用米				
備蓄米				
飼料用米				
米粉用米				
新市場開拓用米				
WCS用稲				
加工用米				
麦				
大豆				
飼料作物				
・子実用とうもろこし				
そば				
なたね				
<b>地力増進作物</b>				
高収益作物				
・野菜				
・花き・花木				
・果樹				
・その他の高収益作物				
その他				
・〇〇				
畑地化				

6 (略)

5 作物ごとの作付予定面積等

作物等	前年度作付面積等 (ha)	当年度の作付予定面積等 (ha)	令和5年度の作付目標面積等 (ha)
主食用米			
備蓄米			
飼料用米			
米粉用米			
新市場開拓用米			
WCS用稲			
加工用米			
麦			
大豆			
飼料作物			
・子実用とうもろこし			
そば			
なたね			
高収益作物			
・野菜			
・花き・花木			
・果樹			
・その他の高収益作物			
その他			
・〇〇			
畑地化			

6 (略)

## 7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名:

整理番号	用途 ※1	作期等 ※2	単価 (円/10a)	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
例	生産性向上対策支援	1	3,000	小麦、大豆	多収品種の導入、排水対策等
例	地域振興作物生産支援	1	10,000	別紙のとおり	作付面積に応じて支援

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする用途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は用途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。  
ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする用途は「1」、二毛作を対象とする用途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする用途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする用途は「4」と記入してください。

※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的な要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。

(新設)

(削る)

### 8 産地交付金の活用方法の明細

1. 都道府県名

2. 活用予定額の総括表

(単位:円)

協議会等名	配分枠 (A+B)		活用予定額
	当初配分 (A)	追加配分 (B)	
●●県 (①)			
地域農業再生協議会合計 (②)			
○○協議会			
△△協議会			
□□協議会			
合計 (①+②)			

(注)追加配分が未定の段階にあつては、該当箇所を空欄により作成することとします。

(参考)国からの配分枠

	配分枠 (A+B)	
	当初配分 (A)	追加配分 (B)
国からの配分枠		

別紙

### 産地交付金の活用方法の明細

1. 都道府県名

2. 活用予定額の総括表

(単位:円)

協議会等名	配分枠 (A+B)		活用予定額
	当初配分 (A)	追加配分 (B)	
●●県 (①)			
地域農業再生協議会合計 (②)			
○○協議会			
△△協議会			
□□協議会			
合計 (①+②)			

(注)追加配分が未定の段階にあつては、該当箇所を空欄により作成することとします。

(参考)国からの配分枠

	配分枠 (A+B)	
	当初配分 (A)	追加配分 (B)
国からの配分枠		



3. 活用方法

配分枠

円

整理番号	用途 ※1	作期等 ※2	単価① (円/10a)	面積 (a単位)※3															合計 ② ※5	所要額 ①×② (円)				
				戦略作物							新市場開拓用米	そば	なたね	産力増進作物	高収益作物						その他			
				麦	大豆	飼料作物	米粉用米	飼料用米	WCS用稲	加工用米					野菜	花き・花木	果樹	その他の高収益作物						
合計(基幹)※4			実面積																					
合計(二毛作)※4			実面積																					※6

- ※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする用途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は用途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。  
ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。  
なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。
- ※2 「作期等」は、基幹作を対象とする用途は「1」、二毛作を対象とする用途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする用途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする用途は「4」と記入してください。
- ※3 「面積」は、当初配分により支援を行う用途について記入し、追加配分により支援を行う用途については、追加配分額が未定の段階にあっては空欄としてください。
- ※4 「合計(基幹)の実面積」は、基幹作を対象とした設定の実面積を記入し、「合計(二毛作)の実面積」は、二毛作を対象とした設定の実面積を記入してください。  
また、「合計②」欄は、基幹作、二毛作それぞれの実面積の合計を記入してください。
- ※5 ②の合計は、各用途の合計面積を記入してください。
- ※6 所要額欄の二重枠には、所要額の合計を記入してください。  
(注)用途ごとに「産地交付金の活用方法の明細(個票)」を添付してください。

3. 活用方法

配分枠

円

整理 番号	用途 ※1	作 期 等 ※2	単価① (円/10a)	面積 (a単位)※3														合計 ② ※5	所要額 ①×② (円)	
				戦略作物							新市場 開拓用米	そば	なたね	高収益作物						その他
				麦	大豆	飼料作物	米粉用米	飼料用米	WCS用稲	加工用米				野菜	花き・花木	果樹	その他の 高収益作 物			
合計(基幹)※4			実面積																	
合計(二毛作)※4			実面積																※6	

- ※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする用途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は用途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。  
ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。  
なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。
  - ※2 「作期等」は、基幹作を対象とする用途は「1」、二毛作を対象とする用途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする用途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする用途は「4」と記入してください。
  - ※3 「面積」は、当初配分により支援を行う用途について記入し、追加配分により支援を行う用途については、追加配分額が未定の段階にあっては空欄としてください。
  - ※4 「合計(基幹)の実面積」は、基幹作を対象とした設定の実面積を記入し、「合計(二毛作)の実面積」は、二毛作を対象とした設定の実面積を記入してください。  
また、「合計②」欄は、基幹作、二毛作それぞれの実面積の合計を記入してください。
  - ※5 ②の合計は、各用途の合計面積を記入してください。
  - ※6 所要額欄の二重枠には、所要額の合計を記入してください。
- (注)用途ごとに「産地交付金の活用方法の明細(個票)」を添付してください。

4. 追加配分等を受けた場合の調整方法

5. 所要額が配分枠を超過した場合の調整方法

6. 高収益作物について

注1 産地交付金で支援する作物のうち、高収益作物に該当する作物名(野菜、花き・花木、果樹除く)を記載してください。  
注2 収益性のわかるデータを添付してください。

4. 追加配分等を受けた場合の調整方法

注 転換作物拡大加算及び高収益作物等拡大加算の配分額の調整を行う場合等についても必要に応じて記載してください。

5. 所要額が配分枠を超過した場合の調整方法

6. 高収益作物について

注1 産地交付金で支援する作物のうち、高収益作物に該当する作物名(野菜、花き・花木、果樹除く)を記載してください。  
注2 収益性のわかるデータを添付してください。

産地交付金の活用方法の明細（個票）

協議会名		整理番号			
使途名					
対象作物					
単 価					
課 題					
目 標		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標				
	実績				
内 容					
具体的要件					
取組の 確認方法					
成果等の 確認方法					
備 考					

※ 課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付してください。  
 ※ 目標が複数ある場合は、欄を追加して全ての目標について記載してください。  
 ※ 令和4年度から新規に設定した目標については、令和2年度及び3年度の目標の記載は不要です。

産地交付金の活用方法の明細（個票）

協議会名		整理番号			
使途名					
対象作物					
単 価					
課 題					
目 標		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標				
	実績				-
内 容					
具体的要件					
取組の 確認方法					
成果等の 確認方法					
備 考					

※ 課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付してください。  
 ※ 目標が複数ある場合は、欄を追加して全ての目標について記載してください。  
 ※ 令和3年度から新規に設定した目標については、令和2年度の目標の記載は不要です。

(別記)

## 〇年度〇〇地域農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

### 1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

### 2 高収益作物の導入や転作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

(記載時は削除)

- 農業者の所得向上地域における水田農業の発展等を図るため、どのような方針・目標で取り組んでいくのか明記してください。

#### 【 検討に当たっての主な視点 】

##### ○ 適地適作の推進

- ・ 地域の実情（気候や圃場条件等）に応じた作物選択 等

##### ○ 収益性・付加価値の向上

- ・ 高収益作物への計画的な転換方針  
(水田農業高収益化推進プロジェクトチームの設置・検討状況、今後の推進計画の策定方針等)
- ・ 転換作物の付加価値の向上に向けた方針 等  
(地場産業との連携、有利販売に向けた販売戦略、ブランド化の取組方針等)

##### ○ 新たな市場・需要の開拓

- ・ 輸出等の新たな市場の開拓に向けた方針 等

##### ○ 生産・流通コストの低減

- ・ 転換作物の生産性の向上に向けた方針 等  
(低コスト生産技術の導入・普及、農地の集積・集約化の方針、作付けの団地化の取組方針等)

### 3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

(記載時は削除)

- 作物の需給動向、担い手の育成、農地の集積・集約化、基盤整備の状況など、地域の実情を総合的に分析し、作付け作物や管理方法等を含め、産地として将来にわたって水田をどのように有効利用していくのか明記してください。

#### 【 検討に当たっての主な視点 】

##### ○ 地域の実情に応じた農地の在り方

- ・ 担い手・労働力の状況等に照らして、水田のまま維持し続けるのか、畑地や樹園地にするか 等

##### ○ 地域の実情に応じた作物・管理方法等の選択

- ・ 輪作体系等への労働生産性が高い子実用とうもろこし等の導入や、省力的な管理が可能な作物等の導入 等

##### ○ 地域におけるブロックローテーション体系の構築

- ・ 地域における水稲作付水田と転換作物作付水田をどのようにローテーションさせるのか、 等

- 水田の利用状況（作付体系）を点検しつつ、重点支援期間（令和3～5年度）における畑地化支援を活用した畑地化の道筋等を明記してください。

##### ○ 水田の利用状況の点検方針・点検結果を踏まえた対応方針（必須）

- ・ 水稲（水張り）を組み入れない作付体系が数年以上定着し、畑作物のみを生産し続けている水田がないか、今後も水稲作に活用される見込みがないか等の点検方針・点検状況等を明記。
- ・ 点検結果を踏まえ、畑地化支援を活用した畑地化や**地域におけるブロックローテーション体系の構築への道筋**等を明記。

(別記)

## 〇年度〇〇地域農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

### 1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

### 2 高収益作物の導入や転作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

(記載時は削除)

- 農業者の所得向上地域における水田農業の発展等を図るため、どのような方針・目標で取り組んでいくのか明記してください。

#### 【 検討に当たっての主な視点 】

##### ○ 適地適作の推進

- ・ 地域の実情（気候や圃場条件等）に応じた作物選択 等

##### ○ 収益性・付加価値の向上

- ・ 高収益作物への計画的な転換方針  
(水田農業高収益化推進プロジェクトチームの設置・検討状況、今後の推進計画の策定方針等)
- ・ 転換作物の付加価値の向上に向けた方針 等  
(地場産業との連携、有利販売に向けた販売戦略、ブランド化の取組方針等)

##### ○ 新たな市場・需要の開拓

- ・ 輸出等の新たな市場の開拓に向けた方針 等

##### ○ 生産・流通コストの低減

- ・ 転換作物の生産性の向上に向けた方針 等  
(低コスト生産技術の導入・普及、農地の集積・集約化の方針、作付けの団地化の取組方針等)

### 3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

(記載時は削除)

- 作物の需給動向、担い手の育成、農地の集積・集約化、基盤整備の状況など、地域の実情を総合的に分析し、作付け作物や管理方法等を含め、産地として将来にわたって水田をどのように有効利用していくのか明記してください。

#### 【 検討に当たっての主な視点 】

##### ○ 地域の実情に応じた農地の在り方

- ・ 担い手・労働力の状況等に照らして、水田のまま維持し続けるのか、畑地や樹園地にするか 等

##### ○ 地域の実情に応じた作物・管理方法等の選択

- ・ 輪作体系等への労働生産性が高い子実用とうもろこし等の導入や、省力的な管理が可能な作物等の導入 等

(新設)

- 水田の利用状況（作付体系）を点検しつつ、重点支援期間（令和3～5年度）における畑地化支援を活用した畑地化の道筋等を明記してください。

##### ○ 水田の利用状況の点検方針・点検結果を踏まえた対応方針（必須）

- ・ 水稲（水張り）を組み入れない作付体系が数年以上定着し、畑作物のみを生産し続けている水田がないか、今後も水稲作に活用される見込みがないか等の点検方針・点検状況等を明記。
- ・ 点検結果を踏まえ、畑地化支援を活用した畑地化の道筋等を明記。

**4 作物ごとの取組方針等**

(1) ~ (5) (略)

(6) 地力増進作物

(7) 高収益作物

別紙

5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等	当年度の作付予定面積等		令和5年度の作付目標面積等	
		うち 二毛作	うち 二毛作	うち 二毛作	うち 二毛作
主食用米					
備蓄米					
飼料用米					
米粉用米					
新市場開拓用米					
WCS用稲					
加工用米					
麦					
大豆					
飼料作物					
・子実用とうもろこし					
そば					
なたね					
<u>地力増進作物</u>					
高収益作物					
・野菜					
・花き・花木					
・果樹					
・その他の高収益作物					
その他					
・〇〇					
畑地化					

**4 作物ごとの取組方針等**

(1) ~ (5) (略)

(新設)

(6) 高収益作物

**5 作物ごとの作付予定面積等**

作物等	前年度作付面積等 (ha)	当年度の作付予定面積等 (ha)	令和5年度の作付目標面積等 (ha)
主食用米			
備蓄米			
飼料用米			
米粉用米			
新市場開拓用米			
WCS用稲			
加工用米			
麦			
大豆			
飼料作物			
・子実用とうもろこし			
そば			
なたね			
高収益作物			
・野菜			
・花き・花木			
・果樹			
・その他の高収益作物			
その他			
・〇〇			
畑地化			

## 7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名:

協議会名:

整理番号	用途 ※1	作期等 ※2	単価 (円/10a)	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
例	生産性向上対策支援	1	3,000	小麦、大豆	多収品種の導入、排水対策等
例	地域振興作物生産支援	1	10,000	別紙のとおり	作付面積に応じて支援

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする用途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は用途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする用途は「1」、二毛作を対象とする用途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする用途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする用途は「4」と記入してください。

※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。

(新設)



(削る)

### 8 産地交付金の活用方法の明細

1. 地域農業再生協議会名

2. 活用予定額の総括表

(単位:円)

協議会等名	配分枠 (A+B)		活用予定額
	当初配分 (A)	追加配分 (B)	
〇〇協議会			

(注)追加配分が未定の段階にあつては、該当箇所を空欄により作成することとします。

別紙

### 産地交付金の活用方法の明細

1. 地域農業再生協議会名

2. 活用予定額の総括表

(単位:円)

協議会等名	配分枠 (A+B)		活用予定額
	当初配分 (A)	追加配分 (B)	
〇〇協議会			

(注)追加配分が未定の段階にあつては、該当箇所を空欄により作成することとします。

改正後

現行

3. 活用方法

配分枠

円

整理番号	用途 ※1	作期等 ※2	単価① (円/10a)	面積 (a単位)※3														合計 ② ※5	所要額 ①×② (円)		
				戦略作物							新市場開拓用米	そば	なたね	地力増進作物	高収益作物					その他	
				麦	大豆	飼料作物	米粉用米	飼料用米	WCS用稲	加工用米					野菜	花き・花木	果樹				その他の高収益作物
合計(基幹)※4			実面積																		
合計(二毛作)※4			実面積																※6		

- ※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする用途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は用途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。  
ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。  
なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。
  - ※2 「作期等」は、基幹作を対象とする用途は「1」、二毛作を対象とする用途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする用途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする用途は「4」と記入してください。
  - ※3 「面積」は、当初配分により支援を行う用途について記入し、追加配分により支援を行う用途については、追加配分額が未定の段階にあっては空欄としてください。
  - ※4 「合計(基幹)の実面積」は、基幹作を対象とした設定の実面積を記入し、「合計(二毛作)の実面積」は、二毛作を対象とした設定の実面積を記入してください。  
また、「合計②」欄は、基幹作、二毛作それぞれの実面積の合計を記入してください。
  - ※5 ②の合計は、各用途の合計面積を記入してください。
  - ※6 所要額欄の二重枠には、所要額の合計を記入してください。
- (注) 用途ごとに「産地交付金の活用方法の明細(個票)」を添付してください。

3. 活用方法

配分枠

円
---

整理 番号	用途 ※1	作 期 等 ※2	単価① (円/10a)	面積 (a単位)※3														合計 ② ※5	所要額 ①×② (円)	
				戦略作物							新市場 開拓用米	そば	なたね	高収益作物						その他
				麦	大豆	飼料作物	米粉用米	飼料用米	WCS用稲	加工用米				野菜	花き・花木	果樹	その他の 高収益作 物			
合計(基幹)※4			実面積																	
合計(二毛作)※4			実面積																※6	

- ※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする用途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は用途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。  
ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。  
なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。
  - ※2 「作期等」は、基幹作を対象とする用途は「1」、二毛作を対象とする用途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする用途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする用途は「4」と記入してください。
  - ※3 「面積」は、当初配分により支援を行う用途について記入し、追加配分により支援を行う用途については、追加配分額が未定の段階にあっては空欄としてください。
  - ※4 「合計(基幹)の実面積」は、基幹作を対象とした設定の実面積を記入し、「合計(二毛作)の実面積」は、二毛作を対象とした設定の実面積を記入してください。  
また、「合計②」欄は、基幹作、二毛作それぞれの実面積の合計を記入してください。
  - ※5 ②の合計は、各用途の合計面積を記入してください。
  - ※6 所要額欄の二重枠には、所要額の合計を記入してください。
- (注)用途ごとに「産地交付金の活用方法の明細(個票)」を添付してください。

4. 追加配分等を受けた場合の調整方法

5. 所要額が配分枠を超過した場合の調整方法

6. 高収益作物について

注1 産地交付金で支援する作物のうち、高収益作物に該当する作物名(野菜、花き・花木、果樹除く)を記載してください。  
注2 収益性のわかるデータを添付してください。

4. 追加配分等を受けた場合の調整方法

注 転換作物拡大加算及び高収益作物等拡大加算の配分額の調整を行う場合等についても必要に応じて記載してください。

5. 所要額が配分枠を超過した場合の調整方法

6. 高収益作物について

注1 産地交付金で支援する作物のうち、高収益作物に該当する作物名(野菜、花き・花木、果樹除く)を記載してください。  
注2 収益性のわかるデータを添付してください。

様式第 11-11 号

番 号  
年 月 日

都道府県知事 殿

地域農業再生協議会長

水田活用の直接支払交付金における産地交付金の追加配分対象面積について

水田活用の直接支払交付金における産地交付金の追加配分について、経営所得安定対策等実施要綱（平成 23 年 4 月 1 日付け 22 経営第 7133 号農林水産事務次官依命通知）別紙 13 の 3 の（2）の③の規定に基づき、7 月 1 日現在における営農計画書等の内容により、追加配分に係る各取組の対象面積を取りまとめたので、下記のとおり報告します。

記

飼料用米の複数年契約	a
米粉用米の複数年契約	a
<u>新市場開拓用米の複数年契約</u>	<u>a</u>
そば（基幹作）の作付け	a
なたね（基幹作）の作付け	a
新市場開拓用米（基幹作）の作付け	a
うち、水田リノベ事業（R 3 補正）対象を除く（注 1）	a
うち、水田リノベ事業（R 3 補正）対象（注 2）	a
<u>地力増進作物（基幹作）の作付け</u>	<u>別紙のとおり</u>
<u>うち、追加配分対象（注 3）</u>	<u>別紙のとおり</u>

※ 対象面積の根拠となる関連資料として、取組ごとの申請者名及び各申請者の作付予定面積の一覧、申請者ごとの添付書類の確認結果の一覧を添付してください（地力増進作物は除く）。

注 1 新市場開拓に向けた水田リノベーション事業実施要綱（令和 3 年 1 月 29 日付け 2 政統第 1912 号農林水産事務次官依命通知）第 2 の 1 に掲げる実需者ニーズ対応低コスト生産等支援事業（以下「低コスト生産等支援事業」といいます。）の対象を除く面積を記入してください。

注 2 低コスト生産支援事業の対象面積を記入してください。

注 3 水稲（加工用米及び新市場開拓用米を除く。）の支援対象年度の前々年度からの作付減少面積と、地力増進作物（基幹作に限る。）の支援対象年度の前々年度からの作付拡大面積のいずれか小さい方の面積を記入してください。ただし、令和 4 年度においては、「支援対象年度の前々年度」を「令和 3 年度」とすることとします。

様式第 11-11 号

番 号  
年 月 日

都道府県知事 殿

地域農業再生協議会長

水田活用の直接支払交付金における産地交付金の追加配分等対象面積について

水田活用の直接支払交付金における産地交付金の追加配分等について、経営所得安定対策等実施要綱（平成 23 年 4 月 1 日付け 22 経営第 7133 号農林水産事務次官依命通知）別紙 13 の 3 の（2）の③の規定に基づき、7 月 1 日現在における営農計画書等の内容により、追加配分等に係る各取組の対象面積を取りまとめたので、下記のとおり報告します。

記

飼料用米の複数年契約	a
米粉用米の複数年契約	a
そば（基幹作）の作付け	a
なたね（基幹作）の作付け	a
新市場開拓用米（基幹作）の作付け	a
うち、水田リノベ事業（R 2 補正）対象を除く（注 1）	a
うち、水田リノベ事業（R 2 補正）対象（注 2）	a
<u>転換作物拡大加算</u>	<u>別紙のとおり</u>
<u>高収益作物等拡大加算</u>	<u>別紙のとおり</u>

※ 対象面積の根拠となる関連資料として、取組ごとの申請者名及び各申請者の作付予定面積の一覧、申請者ごとの添付書類の確認結果の一覧を添付してください（転換作物拡大加算及び高収益作物等拡大加算は除く）。

注 1 新市場開拓に向けた水田リノベーション事業実施要綱（令和 3 年 1 月 29 日付け 2 政統第 1912 号農林水産事務次官依命通知）第 2 の 1 に掲げる実需者ニーズ対応低コスト生産等支援事業（以下「低コスト生産等支援事業」といいます。）の対象を除く面積を記入してください。

注 2 低コスト生産支援事業の対象面積を記入してください。

（新設）

(削る)

(別紙) 転換作物の作付面積

都道府県名

協議会名 (略さず正式名称を記入してください)	年度	加工用米 (注2) (a)	新規需要米				麦 (注2) (a)	大豆 (注2) (a)	飼料作物(注2)				子実用とう もろこし (飼料用 以外) (注4) (a)	そば (注3) (a)	なたね (注3) (a)	高収益作物(注5)					転換作物 拡大加算 対象面積 (a)	高収益作物等 拡大加算 対象面積 (a)
			米粉用米 (注2) (a)	飼料用米 (注2) (a)	WCS用稲 (注2) (a)	新市場 開拓用米 (注3) (a)			飼料用とう もろこし以 外 (a)	飼料用とうもろこし		野菜 (a)				花き・花木 (a)	果樹 (a)	その他の 高収益作物 (注6) (a)				
										子実用	青刈り											
	令和元年度																					
	令和2年度																					
	令和3年度																					

注1 全て基幹作のみの面積を記入してください。

注2 加工用米、米粉用米、飼料用米、WCS用稲、麦、大豆及び飼料作物については、戦略作物助成の対象面積を記入してください(令和元年度及び令和2年度は実績面積、令和3年度は申請面積、いずれも実面積)。

注3 新市場開拓用米、そば及びなたねについては、産地交付金の追加配分対象面積を記入してください(令和元年度及び令和2年度は追加配分実施面積、令和3年度は追加配分対象面積、いずれも実面積)。

注4 子実用とうもろこし(飼料用以外)については、産地交付金の活用実績面積(実績が確定していない場合は申請面積)又は水田農業高収益化推進助成(子実用とうもろこし支援)の対象面積(実績が確定していない場合は申請面積)を記入してください。

注5 高収益作物については、産地交付金の対象となっている面積を記入してください(令和元年度及び令和2年度は活用実績面積、令和3年度は産地交付金対象面積とし、いずれも実面積とする)。

注6 その他の高収益作物は、野菜、花き・花木及び果樹以外で、主食用米と比べて面積当たりの収益性が高い作物であることについて、地方農政局等の承認を得たものについて記入してください。

注7 令和3年度については、新市場開拓に向けた水田リノベーション事業実施要綱(令和3年1月29日付け2政統第1912号農林水産事務次官依命通知)第2の1に掲げる実需者ニーズ対応低コスト生産等支援事業の対象面積も含めた面積を記入してください。

(別紙)地力増進作物の追加配分対象面積

都道府県名

(単位:a)

協議会名 (略さずに正式名称を 記入してください)	年度	主食用米	備蓄米	米粉用米	飼料用米	WCS用稲	水稲合計	地力増進 作物	追加配分 対象面積
	令和3年度								
	令和4年度(計画)								
	前年度からの増減分								

(注) 水稲合計は、加工用米、新市場開拓用米を除いた水稲の作付面積を指します。

※1 全て基幹作りのみの面積を記入してください。

※2 主食用米及び備蓄米の面積については、地方農政局等が公表した「水田における作付状況」の地域農業再生協議会別の面積を記入してください。□

※3 米粉用米、飼料用米、WCS用稲については、戦略作物助成の対象面積を記入してください。(実績が確定していない場合は、申請面積を記入してください。)□

※4 地力増進作物については、各地域協議会において水田収益力強化ビジョンに位置づけた地力増進作物の作付面積を記入してください。

(令和3年度は作付実績面積、令和4年度は作付計画面積、いずれも実面積。)

※5 追加配分対象面積については、地力増進作物作付面積の前々年度からの増加分と、水稲作付面積の前々年度からの減少分のいずれか小さい方の面積を記入してください。

ただし、令和4年度においては、「支援対象年度の前々年度」を「令和3年度」とすることとします。

※6 記入欄には、各地域農業再生協議会において、農業者ごとの面積(m<sup>2</sup>)を積み上げた、地域農業再生協議会ごとの合計面積を記入してください。

ただし、1a未満の端数が生じた場合は、切り捨てて記入してください。

(新設)

改正後

現行

様式第 11-12 号

様式第 11-12 号

番 号  
年 月 日

番 号  
年 月 日

〇〇農政局長 殿  
北海道農政事務所長  
内閣府沖縄総合事務局長

〇〇農政局長 殿  
北海道農政事務所長  
内閣府沖縄総合事務局長

都道府県知事

都道府県知事

水田活用の直接支払交付金における産地交付金の追加配分対象面積について

水田活用の直接支払交付金における産地交付金の追加配分等対象面積について

水田活用の直接支払交付金における産地交付金の追加配分について、経営所得安定対策等実施要綱（平成 23 年 4 月 1 日付け 22 経営第 7133 号農林水産事務次官依命通知）別紙 13 の 3 の（2）の④の規定に基づき、7 月 1 日現在における営農計画書等の内容により、追加配分に係る各取組の対象面積を取りまとめたので、下記のとおり報告します。

水田活用の直接支払交付金における産地交付金の追加配分等について、経営所得安定対策等実施要綱（平成 23 年 4 月 1 日付け 22 経営第 7133 号農林水産事務次官依命通知）別紙 13 の 3 の（2）の④の規定に基づき、7 月 1 日現在における営農計画書等の内容により、追加配分等に係る各取組の対象面積を取りまとめたので、下記のとおり報告します。

記

記

飼料用米の複数年契約	a
米粉用米の複数年契約	a
新市場開拓用米の複数年契約	a
そば（基幹作）の作付け	a
なたね（基幹作）の作付け	a
新市場開拓用米（基幹作）の作付け	a
うち、水田リノベ事業（R 3 補正）対象を除く（注 1）	a
うち、水田リノベ事業（R 3 補正）対象（注 2）	a
地力増進作物（基幹作）の作付け	別紙のとおり
うち、追加配分対象（注 3）	別紙のとおり

飼料用米の複数年契約	a
米粉用米の複数年契約	a
そば（基幹作）の作付け	a
なたね（基幹作）の作付け	a
新市場開拓用米（基幹作）の作付け	a
うち、水田リノベ事業（R 2 補正）対象を除く（注 1）	a
うち、水田リノベ事業（R 2 補正）対象（注 2）	a
転換作物拡大加算	別紙のとおり
高収益作物等拡大加算	別紙のとおり

※ 対象面積の根拠となる関連資料として、取組ごとの申請者名及び各申請者の作付予定面積の一覧、申請者ごとの添付書類の確認結果の一覧を添付してください（地力増進作物は除く）。

※ 対象面積の根拠となる関連資料として、取組ごとの申請者名及び各申請者の作付予定面積の一覧、申請者ごとの添付書類の確認結果の一覧を添付してください。（転換作物拡大加算及び高収益作物等拡大加算は除く）。

注 1 新市場開拓に向けた水田リノベーション事業実施要綱（令和 3 年 1 月 29 日付け 2 政統第 1912 号農林水産事務次官依命通知）第 2 の 1 に掲げる実需者ニーズ対応低コスト生産等支援事業（以下「低コスト生産等支援事業」といいます。）の対象を除く面積を記入してください。

注 1 新市場開拓に向けた水田リノベーション事業実施要綱（令和 3 年 1 月 29 日付け 2 政統第 1912 号農林水産事務次官依命通知）第 2 の 1 に掲げる実需者ニーズ対応低コスト生産等支援事業（以下「低コスト生産等支援事業」といいます。）の対象を除く面積を記入してください。

注 2 低コスト生産支援事業の対象面積を記入してください。

注 2 低コスト生産支援事業の対象面積を記入してください。

注 3 水稲（加工用米及び新市場開拓用米を除く。）の支援対象年度の前々年度からの作付減少面積と、地力増進作物（基幹作に限る。）の支援対象年度の前々年度からの作付拡大面積のいずれか小さい方の面積を記入してください。ただし、令和 4 年度においては、「支援対象年度の前々年度」を「令和 3 年度」とすることとします。

（新設）



(削る)

(別紙) 転換作物の作付面積

都道府県名

協議会名 (職さないに正式名称を記入してください)	年度	加工用米 (注2) (a)	新規需要米					麦 (注2) (a)	大豆 (注2) (a)	飼料作物(注2)						子実用とうもろこし (飼料用以外) (注4) (a)	そば (注3) (a)	なたね (注3) (a)	高収益作物(注5)					転換作物 拡大加算 対象面積 (a)	高収益作物等 拡大加算 対象面積 (a)					
			米粉用米 (注2) (a)	飼料用米 (注2) (a)	WCS用稲 (注2) (a)	新市場 開拓用米 (注3) (a)	飼料用とうもろこし 以外 (a)			飼料用とうもろこし 子実用 (a)	青刈り (a)	野菜 (a)	花き・花木 (a)	果樹 (a)	その他の 高収益作物 (注6) (a)															
	令和元年度																													
	令和2年度																													
	令和3年度																													
	令和元年度																													
	令和2年度																													
	令和3年度																													
	令和元年度																													
	令和2年度																													
	令和3年度																													
	令和元年度																													
	令和2年度																													
	令和3年度																													
	令和元年度																													
	令和2年度																													
	令和3年度																													
	令和元年度																													
	令和2年度																													
	令和3年度																													
合計	令和元年度																													
	令和2年度																													
	令和3年度																													

※ 適直行を追加してください。

注1 全て基幹作のみの面積を記入してください。  
注2 加工用米、米粉用米、飼料用米、WCS用稲、麦、大豆及び飼料作物については、戦略作物助成の対象面積を記入してください(令和元年度及び令和2年度は実績面積、令和3年度は申請面積、いずれも実面積)。  
注3 新市場開拓用米、そば及びなたねについては、産地交付金の追加配分対象面積を記入してください(令和元年度及び令和2年度は追加配分実施面積、令和3年度は追加配分対象面積、いずれも実面積)。  
注4 子実用とうもろこし(飼料用以外)については、産地交付金の活用実績面積(実績が確定していない場合は申請面積)又は水田農業高収益化推進助成(子実用とうもろこし支援)の対象面積(実績が確定していない場合は申請面積)を記入してください。  
注5 高収益作物については、産地交付金の対象となっている面積を記入してください(令和元年度及び令和2年度は活用実績面積、令和3年度は産地交付金対象面積とし、いずれも実面積とする)。  
注6 その他の高収益作物は、野菜、花き・花木及び果樹以外で、主食用米と比べて面積当たりの収益性が高い作物であることについて、地方農政局等の承認を得たものについて記入してください。  
注7 令和3年度については、新市場開拓に向けた水田リノベーション事業実施要綱(令和3年1月29日付け2政統第1912号農林水産事務次官依命通知)第2の1に掲げる実需者ニーズ対応低コスト生産等支援事業の対象面積も含めた面積を記入してください。

(別紙) 地力増進作物の追加配分対象面積

都道府県名

(単位: a)

協議会名 (略さずに正式名称を 記入してください)	年度	主食用米	備蓄米	米粉用米	飼料用米	WCS用種	水稲合計	地力増進 作物	追加配分 対象面積
	令和3年度								
	令和4年度(計画)								
	前年度からの増減分								
	令和3年度								
	令和4年度(計画)								
	前年度からの増減分								
	令和3年度								
	令和4年度(計画)								
	前年度からの増減分								
	令和3年度								
	令和4年度(計画)								
	前年度からの増減分								
	令和3年度								
	令和4年度(計画)								
	前年度からの増減分								
	令和3年度								
	令和4年度(計画)								
	前年度からの増減分								
								合計	

※ 適宜行を追加してください。

(注) 水稲合計は、加工用米、新市場開拓用米を除いた水稲の作付面積を指します。

※1 全て基幹作りのみの面積を記入してください。

※2 主食用米及び備蓄米の面積については、地方農政局等が公表した「水田における作付状況」の地域農業再生協議会別の面積を記入してください。□

※3 米粉用米、飼料用米、WCS用種については、戦略作物助成の対象面積を記入してください。(実績が確定していない場合は、申請面積を記入してください。)□

※4 地力増進作物については、各地域協議会において水田収益力強化ビジョンに位置づけた地力増進作物の作付面積を記入してください。

(令和3年度は作付実績面積、令和4年度は作付計画面積、いずれも実面積。)

※5 追加配分対象面積については、地力増進作物作付面積の前々年度からの増加分と、水稲作付面積の前々年度からの減少分のいずれか小さい方の面積を記入してください。

ただし、令和4年度においては、「支援対象年度の前々年度」を「令和3年度」とすることとします。

※6 記入欄には、各地域農業再生協議会において、農業者ごとの面積(m<sup>2</sup>)を積み上げた、地域農業再生協議会ごとの合計面積を記入してください。

ただし、1a未満の端数が生じた場合は、切り捨てて記入してください。

(新設)

様式第 11-13 号

番 号  
年 月 日

都道府県知事 殿

地域農業再生協議会長

水田活用の直接支払交付金における産地交付金の追加配分実施面積について

水田活用の直接支払交付金における産地交付金の追加配分について、経営所得安定対策等実施要綱（平成 23 年 4 月 1 日付け 22 経営第 7133 号農林水産事務次官依命通知）別紙 13 の 3 の（4）の規定に基づき、追加配分に係る各取組の実施面積を取りまとめたので、下記のとおり報告します。

記

飼料用米の複数年契約	a
米粉用米の複数年契約	a
<u>新市場開拓用米の複数年契約</u>	<u>a</u>
そば（基幹作）の作付け	a
なたね（基幹作）の作付け	a
新市場開拓用米（基幹作）の作付け	a
うち、水田リノベ事業（R3補正）対象を除く（注1）	a
うち、水田リノベ事業（R3補正）対象（注2）	a
<u>地力増進作物（基幹作）の作付け</u>	<u>別紙のとおり</u>
<u>うち、追加配分対象（注3）</u>	<u>別紙のとおり</u>

※ 対象面積の根拠となる関連資料として、取組ごとの申請者名及び各申請者の作付予定面積の一覧、申請者ごとの添付書類の確認結果の一覧を添付してください（地力増進作物は除く）。

注1 新市場開拓に向けた水田リノベーション事業実施要綱（令和3年1月29日付け2政統第1912号農林水産事務次官依命通知）第2の1に掲げる実需者ニーズ対応低コスト生産等支援事業（以下「低コスト生産等支援事業」といいます。）の対象を除く面積を記入してください。

注2 低コスト生産支援事業の対象面積を記入してください。

注3 水稻（加工用米及び新市場開拓用米を除く。）の支援対象年度の前々年度からの作付減少面積と、地力増進作物（基幹作に限る。）の支援対象年度の前々年度からの作付拡大面積のいずれか小さい方の面積を記入してください。ただし、令和4年度においては、「支援対象年度の前々年度」を「令和3年度」とすることとします。

様式第 11-13 号

番 号  
年 月 日

都道府県知事 殿

地域農業再生協議会長

水田活用の直接支払交付金における産地交付金の追加配分等実施面積について

水田活用の直接支払交付金における産地交付金の追加配分等について、経営所得安定対策等実施要綱（平成 23 年 4 月 1 日付け 22 経営第 7133 号農林水産事務次官依命通知）別紙 13 の 3 の（4）の規定に基づき、追加配分等に係る各取組の実施面積を取りまとめたので、下記のとおり報告します。

記

飼料用米の複数年契約	a
米粉用米の複数年契約	a
そば（基幹作）の作付け	a
なたね（基幹作）の作付け	a
新市場開拓用米（基幹作）の作付け	a
うち、水田リノベ事業（R2補正）対象を除く（注1）	a
うち、水田リノベ事業（R2補正）対象（注2）	a
<u>転換作物拡大加算</u>	<u>別紙のとおり</u>
<u>高収益作物等拡大加算</u>	<u>別紙のとおり</u>

※ 実施面積の根拠となる関連資料として、取組ごとの申請者名及び各申請者の作付予定面積と作付実績の一覧を添付してください（転換作物拡大加算及び高収益作物等拡大加算は除く）。

注1 新市場開拓に向けた水田リノベーション事業実施要綱（令和3年1月29日付け2政統第1912号農林水産事務次官依命通知）第2の1に掲げる実需者ニーズ対応低コスト生産等支援事業（以下「低コスト生産等支援事業」といいます。）の対象を除く面積を記入してください。

注2 低コスト生産支援事業の対象面積を記入してください。

（新設）

(削る)

(別紙) 令和3年度 転換作物の作付面積

都道府県名

協議会名 (略さず正式名称を記入してください)	加工用米 (注2) (a)	新規需要米					麦 (注2) (a)	大豆 (注2) (a)	飼料作物(注2)					子実用とうもろこし (飼料用以外) (注4) (a)	そば (注3) (a)	なたね (注3) (a)	高収益作物(注5)				転換作物 拡大加算 対象面積 (a)	高収益作物等 拡大加算 対象面積 (a)
		米粉用米 (注2) (a)	飼料用米 (注2) (a)	WCS用稲 (注2) (a)	新市場 開拓用米 (注3) (a)	飼料用とうもろこし 以外 (a)			飼料用とうもろこし		野菜 (a)	花き・花木 (a)	果樹 (a)				その他の 高収益作物 (注6) (a)					
									子実用 (a)	青刈り (a)												

注1 全て基幹作のみの面積を記入してください。

注2 加工用米、米粉用米、飼料用米、WCS用稲、麦、大豆及び飼料作物については、戦略作物助成の対象面積を記入してください。

注3 新市場開拓用米、そば及びなたねについては、産地交付金の対象面積を記入してください。

注4 子実用とうもろこし(飼料用以外)については、産地交付金の活用実績面積又は水田農業高収益化推進助成(子実用とうもろこし支援)の対象面積を記入してください。

注5 高収益作物については、産地交付金の対象となっている面積を記入してください。

注6 その他の高収益作物は、野菜、花き・花木及び果樹以外で、主食用米と比べて面積当たりの収益性が高い作物であることについて、地方農政局等の承認を得たものについて記入してください。

注7 新市場開拓に向けた水田リノベーション事業実施要綱(令和3年1月29日付け2政統第1912号農林水産事務次官依命通知)第2の1に掲げる実需者ニーズ対応低コスト生産等支援事業の対象面積も含めた面積を記入してください。

(別紙)地力増進作物の追加配分実施面積

都道府県名

(単位:a)

協議会名 (略さずに正式名称を 記入してください)	年度	主食用米	備蓄米	米粉用米	飼料用米	WCS用稲	水稲合計	地力増進 作物	追加配分 実施面積
	令和3年度								
	令和4年度								
	前年度からの増減分								

(注) 水稲合計は、加工用米、新市場開拓用米を除いた水稲の作付面積を指します。

※1 全て基幹作のみの面積を記入してください。

※2 主食用米及び備蓄米の面積については、地方農政局等が公表した「水田における作付状況」の地域農業再生協議会別の面積を記入してください。□

※3 米粉用米、飼料用米、WCS用稲については、戦略作物助成の対象面積を記入してください。□

※4 地力増進作物については、各地域協議会において水田収益力強化ビジョンに位置づけた地力増進作物の作付実績面積を記入してください。

※5 追加配分実施面積については、地力増進作物作付面積の前々年度からの増加分と、水稲作付面積の前々年度からの減少分のいずれか小さい方の面積を記入してください。  
ただし、令和4年度においては、「支援対象年度の前々年度」を「令和3年度」とすることとします。

※6 記入欄には、各地域農業再生協議会において、農業者ごとの面積(m<sup>2</sup>)を積み上げた、地域農業再生協議会ごとの合計面積を記入してください。  
ただし、1a未満の端数が生じた場合は、切り捨てて記入してください。

(新設)

様式第 11-14 号

番 号  
年 月 日

〇〇農政局長 殿  
〔北海道農政事務所長  
内閣府沖縄総合事務局長〕

都道府県知事

水田活用の直接支払交付金における産地交付金の追加配分実施面積について

水田活用の直接支払交付金における産地交付金の追加配分について、経営所得安定対策等実施要綱（平成 23 年 4 月 1 日付け 22 経営第 7133 号農林水産事務次官依命通知）別紙 13 の 3 の（4）の規定に基づき、追加配分に係る各取組の実施面積を取りまとめたので、下記のとおり報告します。

記

飼料用米の複数年契約	a
米粉用米の複数年契約	a
新市場開拓用米の複数年契約	a
そば（基幹作）の作付け	a
なたね（基幹作）の作付け	a
新市場開拓用米（基幹作）の作付け	a
うち、水田リノベ事業（R 3 補正）対象を除く（注 1）	a
うち、水田リノベ事業（R 3 補正）対象（注 2）	a
地力増進作物（基幹作）の作付け	別紙のとおり
うち、追加配分対象（注 3）	別紙のとおり

※ 対象面積の根拠となる関連資料として、取組ごとの申請者名及び各申請者の作付予定面積の一覧、申請者ごとの添付書類の確認結果の一覧を添付してください（地力増進作物は除く）。

注 1 新市場開拓に向けた水田リノベーション事業実施要綱（令和 3 年 1 月 29 日付け 2 政統第 1912 号農林水産事務次官依命通知）第 2 の 1 に掲げる実需者ニーズ対応低コスト生産等支援事業（以下「低コスト生産等支援事業」といいます。）の対象を除く面積を記入してください。

注 2 低コスト生産支援事業の対象面積を記入してください。

注 3 水稲（加工用米及び新市場開拓用米を除く。）の支援対象年度の前々年度からの作付減少面積と、地力増進作物（基幹作に限る。）の支援対象年度の前々年度からの作付拡大面積のいずれか小さい方の面積を記入してください。ただし、令和 4 年度においては、「支援対象年度の前々年度」を「令和 3 年度」とすることとします。

様式第 11-14 号

番 号  
年 月 日

〇〇農政局長 殿  
〔北海道農政事務所長  
内閣府沖縄総合事務局長〕

都道府県知事

水田活用の直接支払交付金における産地交付金の追加配分等実施面積について

水田活用の直接支払交付金における産地交付金の追加配分等について、経営所得安定対策等実施要綱（平成 23 年 4 月 1 日付け 22 経営第 7133 号農林水産事務次官依命通知）別紙 13 の 3 の（4）の規定に基づき、追加配分等に係る各取組の実施面積を取りまとめたので、下記のとおり報告します。

記

飼料用米の複数年契約	a
米粉用米の複数年契約	a
そば（基幹作）の作付け	a
なたね（基幹作）の作付け	a
新市場開拓用米（基幹作）の作付け	a
うち、水田リノベ事業（R 2 補正）対象を除く（注 1）	a
うち、水田リノベ事業（R 2 補正）対象（注 2）	a
転換作物拡大加算	別紙のとおり
高収益作物等拡大加算	別紙のとおり

※ 実施面積の根拠となる関連資料として、取組ごとの申請者名及び各申請者の作付予定面積と作付実績の一覧を添付してください（転換作物拡大加算及び高収益作物等拡大加算は除く）。

注 1 新市場開拓に向けた水田リノベーション事業実施要綱（令和 3 年 1 月 29 日付け 2 政統第 1912 号農林水産事務次官依命通知）第 2 の 1 に掲げる実需者ニーズ対応低コスト生産等支援事業（以下「低コスト生産等支援事業」といいます。）の対象面積を除く面積を記入してください。

注 2 低コスト生産支援事業の対象面積を記入してください。

（新設）

(削る。)

(別紙) 令和3年度 転換作物の作付面積

都道府県名

協議会名 (略さず正式名称を記入してください)	加工用米 (注2) (a)	新規需要米				麦 (注2) (a)	大豆 (注2) (a)	飼料作物(注2)				子実用とうもろこし (飼料用以外) (注4) (a)	そば (注3) (a)	なたね (注3) (a)	高収益作物(注5)				転換作物 拡大加算 対象面積 (a)	高収益作物等 拡大加算 対象面積 (a)					
		米粉用米 (注2) (a)	飼料用米 (注2) (a)	WCS用稲 (注2) (a)	新市場 開拓用米 (注3) (a)			飼料用とうもろこし以外 (a)	飼料用とうもろこし		野菜 (a)				花き・花木 (a)	果樹 (a)	その他の 高収益作物 (注6) (a)								
									子実用 (a)	青刈り (a)															

※ 適宜行を追加してください。

注1 全て基幹作のみの面積を記入してください。

注2 加工用米、米粉用米、飼料用米、WCS用稲、麦、大豆及び飼料作物については、戦略作物助成の対象面積を記入してください。

注3 新市場開拓用米、そば及びなたねについては、産地交付金の対象面積を記入してください。

注4 子実用とうもろこし(飼料用以外)については、産地交付金の活用実績面積又は水田農業高収益化推進助成(子実用とうもろこし支援)の対象面積を記入してください。

注5 高収益作物については、産地交付金の対象となっている面積を記入してください。

注6 その他の高収益作物は、野菜、花き・花木及び果樹以外で、主食用米と比べて面積当たりの収益性が高い作物であることについて、地方農政局等の承認を得たものについて記入してください。

注7 新市場開拓に向けた水田リノベーション事業実施要綱(令和3年1月29日付け2政統第1912号農林水産事務次官依命通知)第2の1に掲げる実需者ニーズ対応低コスト生産等支援事業の対象面積も含めた面積を記入してください。

(別紙)地力増進作物の追加配分実施面積

都道府県名

(単位:a)

協議会名 (略さず正式名称を 記入してください)	年度	主食用米	備蓄米	米粉用米	飼料用米	WCS用稲	水稲合計	地力増進 作物	追加配分 実施面積
	令和3年度								
	令和4年度								
	前年度からの増減分								
	令和3年度								
	令和4年度								
	前年度からの増減分								
	令和3年度								
	令和4年度								
	前年度からの増減分								
	令和3年度								
	令和4年度								
	前年度からの増減分								
	令和3年度								
	令和4年度								
	前年度からの増減分								
	令和3年度								
	令和4年度								
	前年度からの増減分								
							合計		

※ 適宜行を追加してください。

(注) 水稲合計は、加工用米、新市場開拓用米を除いた水稲の作付面積を指します。

※1 全て基幹作のみの面積を記入してください。

※2 主食用米及び備蓄米の面積については、地方農政局等が公表した「水田における作付状況」の地域農業再生協議会別の面積を記入してください。□

※3 米粉用米、飼料用米、WCS用稲については、戦略作物助成の対象面積を記入してください。□

※4 地力増進作物については、各地域協議会において水田収益力強化ビジョンに位置づけた地力増進作物の作付実績面積を記入してください。

※5 追加配分実施面積については、地力増進作物作付面積の前々年度からの増加分と、水稲作付面積の前々年度からの減少分のいずれか小さい方の面積を記入してください。  
ただし、令和4年度においては、「支援対象年度の前々年度」を「令和3年度」とすることとします。

※6 記入欄には、各地域農業再生協議会において、農業者ごとの面積(m<sup>2</sup>)を積み上げた、地域農業再生協議会ごとの合計面積を記入してください。  
ただし、1a未満の端数が生じた場合は、切り捨てて記入してください。

(新設)





様式第11-15号

別紙

産地交付金の活用実績の明細

1・2 (略)

3. 活用実績

配分枠

円
---

整理番号	用途	作期等 ※1	実績面積 (a単位、小数第2位まで記入)										助成対象面積計 ① ※3 { a未満 端数 処理後 }	計画ベース		調整後ベース※4						
			戦略作物							新市場 開拓用米	そば	なたね		高収益作物				その他 ※2	単価 (円/10a) ②	所要額 (円) ※5 ③=①×②	単価 (円/10a) ④	所要額 (円) ※5 ⑤=①×④
			麦	大豆	飼料作物	米粉用米	飼料用米	WCS用稲	加工用米					野菜	花き・花木	果樹	その他の 高収益作物 ※2					
合計(基幹 実面積)※6														/	※7	/	※7					
合計(二毛作 実面積)※6														/	※7	/	※7					

※1 「作期等」は、基幹作を対象とする用途は「1」、二毛作を対象とする用途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする用途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする用途は「4」と記入してください。  
 ※2 「その他の高収益作物」及び「その他」に実績面積がある場合は、「その他」に含まれる作物ごとに内訳を、本様式に準じて作成し添付してください。  
 ※3 「助成対象面積計①」は、「交付申請者単位で用途ごとに対象作物すべての実績面積を集計した後a未満を端数処理(切捨)した値」の積み上げ値を記入してください。  
 ※4 単価調整がなかった場合は、「調整後ベース」欄の記入は不要です。  
 ※5 「所要額⑤(単価調整がなかった場合は所要額③。以下同様)」は、計算式に基づく交付申請者ごとの交付額の積み上げと合わせてください。  
 ただし、「単価④」が10円未満の端数があり「所要額⑤」が計算式(①×④÷10)の値とならない場合、「所要額⑤」には別途計算した交付申請者ごとの積み上げ値を記入してください。  
 ※6 「合計(基幹 実面積)」は基幹作を対象とした用途ごとの面積の計でなく、実面積を記入してください(「合計(二毛作 実面積)」も同様)。  
 ※7 所要額欄の二重枠には、所要額の合計を記入してください。

4・5 (略)

様式第11-15号

別紙

産地交付金の活用実績の明細

1・2 (略)

3. 活用実績

配分枠

円
---

整理番号	用途	作期等※1	実績面積 (a単位、小数第2位まで記入)													助成対象面積計 ① ※3 (a未満 端数 処理後)	計画ベース		調整後ベース※4					
			戦略作物								新市場 開拓用米	そば	なたね	他力調整作物	高収益作物				その他 ※2	単価 (円/10a) ②	所要額 (円) ※5 ③= ①×②	単価 (円/10a) ④	所要額 (円) ※5 ⑤= ①×④	
			麦	大豆	飼料作物	米粉用米	飼料用米	WCS用稲	加工用米	野菜					花き・花木		果樹	その他の 高収益作 物 ※2						
合計(基幹 実面積)※6																	※7		※7					
合計(二毛作 実面積)※6																								

※1 「作期等」は、基幹作を対象とする用途は「1」、二毛作を対象とする用途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする用途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする用途は「4」と記入してください。  
 ※2 「その他の高収益作物」及び「その他」に実績面積がある場合は、「その他」に含まれる作物ごとに内訳を、本様式に準じて作成し添付してください。  
 ※3 「助成対象面積計①」は、「交付申請者単位で用途ごとに対象作物すべての実績面積を集計した後a未満を端数処理(切捨)した値」の積み上げ値を記入してください。  
 ※4 単価調整がなかった場合は、「調整後ベース」欄の記入は不要です。  
 ※5 「所要額⑤(単価調整がなかった場合は所要額③。以下同様)」は、計算式に基づく交付申請者ごとの交付額の積み上げと合わせてください。  
 ただし、「単価④」が10円未満の端数があり「所要額⑤」が計算式(①×④÷10)の値とならない場合、「所要額⑤」には別途計算した交付申請者ごとの積み上げ値を記入してください。  
 ※6 「合計(基幹 実面積)」は基幹作を対象とした用途ごとの面積の計でなく、実面積を記入してください(「合計(二毛作 実面積)」も同様)。  
 ※7 所要額欄の二重枠には、所要額の合計を記入してください。

4・5 (略)

様式第11-15号

別紙

産地交付金の活用実績の明細

1・2 (略)

3. 活用実績

配分枠

円
---

整理番号	用途	作期等 ※1	実績面積 (a単位、小数第2位まで記入)										助成対象面積計 ① ※3 〔a未満 端数 処理後〕	計画ベース		調整後ベース※4						
			戦略作物							新市場 開拓用米	そば	なたね		高収益作物				その他 ※2	単価 (円/10a) ②	所要額 (円) ※5 ③=①×②	単価 (円/10a) ④	所要額 (円) ※5 ⑤=①×④
			麦	大豆	飼料作物	米粉用米	飼料用米	WCS用稲	加工用米					野菜	花き・花木	果樹	その他の 高収益作物 ※2					
合計(基幹 実面積)※6																						
合計(二毛作 実面積)※6																						

※1 「作期等」は、基幹作を対象とする用途は「1」、二毛作を対象とする用途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする用途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする用途は「4」と記入してください。

※2 「その他の高収益作物」及び「その他」に実績面積がある場合は、「その他」に含まれる作物ごとに内訳を、本様式に準じて作成し添付してください。

※3 「助成対象面積計①」は、「交付申請者単位で用途ごとに対象作物すべての実績面積を集計した後a未満を端数処理(切捨)した値」の積み上げ値を記入してください。

※4 単価調整がなかった場合は、「調整後ベース」欄の記入は不要です。

※5 「所要額⑤(単価調整がなかった場合は所要額③。以下同様)」は、計算式に基づく交付申請者ごとの交付額の積み上げと合わせてください。  
ただし、「単価④」が10円未満の端数があり「所要額⑤」が計算式(①×④÷10)の値とならない場合、「所要額⑤」には別途計算した交付申請者ごとの積み上げ値を記入してください。

※6 「合計(基幹 実面積)」は基幹作を対象とした用途ごとの面積の計でなく、実面積を記入してください(「合計(二毛作 実面積)」も同様)。

※7 所要額欄の二重枠には、所要額の合計を記入してください。

4・5 (略)